



TITLE:

「健康人間学」創刊に当たって

AUTHOR(S):

石井, 誠士

CITATION:

石井, 誠士. 「健康人間学」創刊に当たって. 京都大学医療技術短期大学
部紀要. 別冊, 健康人間学 1988, 1: 4-4

ISSUE DATE:

1988

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/49473>

RIGHT:

「健康人間学」創刊に当たって

京都大学医療技術短期大学部研究プロジェクト

健康人間学研究会 コーディネーター

石 井 誠 士

この度健康を人間の問題として根本的に考え、学際的にさまざまな視点から究明することを目的として、この小冊子を創刊することになりました。

今日、健康は人々の大きな関心事になっております。世界的にブームになった、と言ってもよいでしょう。至る所で健康が話題にされ、健康について実におびただしい量の書物が書かれ、ジャーナリズムでもいろんな啓蒙がなされております。

しかし、ほんとうは、健康、この全一的なもの、人間の生命の自己充実について語るとは易しいことではありません。とかく私達は寡黙になったり、さもなくば、安易に、あるいは不真面目に語ったりしがちです。

私達はもし健康について語れるようになるのでしょうか。いったい私達はどのように語ったら、人間の生命とその問題との深さに迫っていけるのでしょうか。

京都大学医療技術短期大学部の研究プロジェクトとして始まった健康人間学研究会において、私達はそれぞれの立場から、またそれぞれの立場を越えて、健康についてより根本的に考える努力をしてきました。しかし、私達の言葉はまだ熟しておりません。論文もまだ試論にとどまるでありましょう。だが、これは私達の内から生まれた学問の歩みの第一歩です。

語ること、ロゴス化することを通して、健康、癒しの事実とその構造とを、そして現代におけるその問題を、より澄みさえた目で見えるようになることにこの学問の意図があります。そしてそれは、生命の真実にもっと近づきたい、更に言えば、深く癒しの事実を確かめえて、共に健康に、充実して生きるようになりたいという人間の本質的な願いに根ざしております。

この小冊子『健康人間学』創刊に当たりまして、絶えず研究会を支えてくださった多くの方々から深く感謝すると共に、これからも、いよいよ叱咤し激励してくださることをお願いします。そして、この研究会に、できるだけ多くの人々が関心をもってくださり、さらには積極的に参加してくださることを期待いたします。